

**委託事業実施内容報告書**  
**平成27年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業**  
**【地域日本語教育実践プログラム(A)】**  
**実施内容報告書**

受託団体名 多文化共生センター大阪

**1. 事業名称**

・日本に暮らし、地域に根ざす外国人のための「生活の漢字」学習支援

**2. 事業の目的**

・日本に定住する予定の外国人、または既に地域に根ざしている外国人を対象に、生活の中で身につけた日本語の音声言語に文字言語を加えることによって、意味は知っていながらも文字としては認識できなかった語彙、特に漢字語彙が読めるようになることを目指す。日常生活において必要な漢字を認識し、自律学習の習慣を身につけてもらうことを目的とする。

**3. 事業内容の概要**

・教室設置においては、漢字学習の入門クラスと発展クラスとに分け、標準的なカリキュラム案を参考にし、日本で生活するために最低限必要な漢字を学ぶ内容（入門編）、日本社会の一員として生活するために必要な漢字語彙を学ぶ内容（発展編）に分ける。漢字学習支援者の養成においては、漢字学習支援を必要としている機関や任意団体へ赴き、これまで培ってきた教授法や教材を提供する。漢字学習教材においては、標準的なカリキュラム案にある教材例集と合わせて使用できる教材の作成を試みる。

**4. 事業の実施体制について**

・中核メンバーは永井慧子・新矢麻紀子・新庄あいみ・川島孝子・御子神慶子。大阪市立総合生涯学習センターに、教室の優先受付、教室間い合わせ及び申し込みの受付など教室の運営管理面で協力を得る。また、おおさか識字にほんごセンターのデータを活用し、大阪市内にある日本語教室や国際交流協会へ教室開催の募集チラシを送付する。送付先の各団体では外国人住民への教室参加の広報に協力を頂く。さらに、外国人から相談があったり、必要と思われる事項が生じた場合は、各機関へと繋げるようにする。

**5. 運営委員会の開催について**

【運営委員】 ※運営委員の氏名及び所属先を記載してください。

1	中村満寿央	多文化共生センター大阪
2	岡本和夫	大阪市立総合生涯学習センター
3	竹内愛実	大阪市立総合生涯学習センター
4	野村京美	大阪市立総合生涯学習センター
5	永井慧子	『生活の漢字』をかんがえる会
6	新庄あいみ	大阪大学
7	新矢麻紀子	大阪産業大学
8	川島孝子	元とよなか国際交流協会
9	御子神慶子	財団法人海外産業人材育成協会
10		

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	4月18日(木) 9:00~12:00	3時間	大阪産業大学梅田サテライト	川島孝子 新庄あいみ 新矢麻紀子 永井慧子 御子神慶子	事業開始準備 1. チラシ作成に関して（養成講座・漢字教室のそれぞれのチラシの内容・作業予定・送付先決定・ラベル確認・送付状内容検討） 2. 申し込み受付・受講者決定・通知に関して（大阪市立総合生涯学習センターに窓口を依頼、ファクスによる受付、はがきによる通知）

2	5月9日(土) 9:30~12:00	2.5時間	大阪市立総合生涯学習センター	川島孝子 新庄あいみ 新矢麻紀子 永井慧子 御子神慶子	事業開始準備 1. 養成講座に関して 今年度より出前に変更するに当たっての出前先の決定方法、連絡方法、問題点等検討 3回シリーズの内容決定  2. 漢字教室に関して テーマ検討、担当日相談 前半に関して決定 今年度から入門と発展にクラスを分けるに当たっての運営方法検討
3	5月23日(土) 13:00~15:30	2.5時間	大阪市立総合生涯学習センター	川島孝子 新庄あいみ 新矢麻紀子 永井慧子 御子神慶子	事業開始準備 1. 申し込み状況検討 養成講座はすでに予定数(4件) 漢字教室は入門レベルの申し込みが少ないので、締切を延期し、多文化共生センター、市立総合生涯学習センターのホームページで広報する。チラシも期限を変更して増し刷りする。 2. 受講通知はがき 内容検討 3. 次回全体運営委員会の準備物検討
4	6月20日(土) 9:30~12:00	2.5時間	大阪市立総合生涯学習センター	岡本和夫 竹内愛実 野村京美 中村満寿央 佐藤千佳 永井慧子 新矢麻紀子 新庄あいみ 川島孝子	●事業内容検討(9:30~11:00) 漢字教室の運営に関して以下検討 漢字ノート 漢字評価シート 出席簿 ファイル等準備物  ●事業開始にあたっての全運営委員による会議(11:00~12:00) 1) あいさつ 2) 出席者自己紹介 3) 本年度の事業について ・事業内容説明 ・大阪市立総合生涯学習センターへの事業説明・協力依頼(申し込み受け付け・チラシ配布・教室確保・広報) ・質疑応答
5	7月4日(土) 16:30~19:00	2.5時間	大阪市立総合生涯学習センター	川島孝子 新庄あいみ 新矢麻紀子 永井慧子 御子神慶子	1. 申し込み状況について 2. ポートフォリオ作成 3. 立替金 4. 養成講座抽せん、出前先決定、通知方法検討
6	7月7日(火) 17:00~19:30	2.5時間	大阪市立総合生涯学習センター	川島孝子 新庄あいみ 新矢麻紀子 永井慧子 御子神慶子	養成講座開始準備・漢字教室開講状況 1. 漢字教室状況報告 2. 養成講座交渉状況報告 3. 佐野真弓(漢字教室指導者)さん紹介

7	9月15日(火) 17:00~19:30	2.5時間	大阪市立総合生涯学習センター	新矢麻紀子 川島孝子 新庄あいみ 永井慧子 御子神慶子	1. 漢字教室状況報告 2. 佐野さんより漢字教室についての感想、意見を聞く。 3. 会計報告
8	11月14日(土) 10:30-13:00	2.5時間	大阪市立総合生涯学習センター	御子神慶子 新庄あいみ 永井慧子 川島孝子	漢字教室・養成講座運営 1. 会計報告 2. 漢字教室報告 3. 養成講座実施報告、今後の講座内容について確認
9	12月26日(土) 13:00-17:00	4時間	大阪市立総合生涯学習センター	永井慧子 新庄あいみ 新矢麻紀子 川島孝子 御子神慶子	事業運営 1. 会計報告 2. 漢字教室報告・反省 3. 養成講座報告・反省 4. 今後の予定
10	2月13日(土) 13:00~14:00 17:00~18:30	2.5時間	大阪市立総合生涯学習センター	永井慧子 新庄あいみ 新矢麻紀子 川島孝子 御子神慶子	事業運営 1. 永井さん文化長官賞受賞報告 2. 27年度事業報告書内容検討 3. アンケート集計・まとめ 4. 会計報告・書類確認
11	3月3日(木) 13:00~17:00	4時間	大阪市立総合生涯学習センター	岡本和夫 野村京美 中村満寿央 佐藤千佳 永井慧子 新矢麻紀子 新庄あいみ 川島孝子 御子神慶子	事業報告 1. 漢字教室 2. 養成講座 3. 教材作成 4. 質疑応答

## 6. 日本語教育の実施

(1) 活動名称

外国人のための「生活の漢字」教室 ①入門クラス②発展クラス

(2) 目的・目標

・学習者が日常生活において、必要な漢字を認識すること、自律して学習できるようになることを目標とする。留学生とは異なり、いわゆる「生活者としての外国人」と呼ばれる人たちは、日本語を生活の中で身につけているケースが多い。そのような形で身につけた日本語の音声言語に文字言語を加えることによって、意味は知っていながらも文字としては認識できなかった語彙、特に漢字語彙が読めるようになることを目指す。

(3) 対象者

- ・漢字の読み書きを習得したいと思っている者
- ・ひらがなとカタカナの読み書きがある程度できる者
- ・簡単な日本語の会話ができる者
- ・大阪市主催の「基礎レベルの日本語教室」を修了した者など
- ・保育が必要な者も含む

(4) 使用した教材・リソース

- ・自主教材
- ・『生活の漢字』（H20年度文化庁地域日本語教育支援事業「日本語教材作成」で作成したテキスト）、『新にほんご〈生活の漢字〉漢字み〜つけた』（アルク）『みんなの日本語発展Ⅰ漢字』（スリーエーネットワーク）

(5) 参加者の総数 25 人

そのうちの日本語学習者数 25人

【出身・国籍別内訳】

中国	2人	インドネシア	人	※他の国籍の場合は以下に国籍と人数を記載してください
韓国	4人	タイ	3人	・イギリス1人
ブラジル	1人	ペルー	2人	・メキシコ1人
ベトナム	2人	フィリピン	6人	・オーストラリア1人
ネパール	人	日本	1人	・スリランカ1人

(6) 開催時間数（回数） 60 時間 （全 20回）

## (7) 日本語教育の実施内容 入門クラス

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成27年7月7日 13:30～15:00	1.5	大阪市立総合生涯学習センターメディア研修室	14人	開講式	<p>開講式</p> <p>1) 主催者、協力者挨拶</p> <p>2) 講師挨拶</p> <p>3) 講座スタッフ自己紹介</p> <p>4) 受講者自己紹介</p> <p>5) 講座についての紹介</p> <p>・レベルチェック</p> <p>・第1回 かんじにかえる のファイルを開き、入力とルビの打ち方を確認する。</p> <p>・パソコンに、五十音表を見ながらひらがなとカタカナを打ち込む。</p> <p>・その間に、受講者へのインタビューを行う。</p>	新庄	川島、オーラヌット、佐藤
2	平成26年7月14日 13:30～15:00	1.5	大阪市立総合生涯学習センターメディア研修室	17人	カレンダー	<p>「日本語の文字について」配布</p> <p>月、曜日、年 (一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、月、火、水、木、金、土、日)</p>	御子神	川島、オーラヌット、佐藤
3	平成26年7月21日 13:30～15:00	1.5	大阪市立総合生涯学習センターメディア研修室	17人	駅	<p>駅、大阪駅、梅田駅、阪急電車、阪神電車、京阪電車、地下鉄御堂筋線、谷町線、四つ橋線、環状線、出口、改札口、女性専用車両 (駅、大阪駅、梅田駅、出口)</p>	御子神	川島、オーラヌット、佐藤

4	平成26年7月28日 13:30～15:00	1.5	大阪市立総合生涯学習センター研修室	14人	ベーシックストローク	ひらがな・かたかな	御子神	新矢、オーラヌット、佐藤
5	平成26年8月4日 13:30～15:00	1.5	大阪市立総合生涯学習センターメディア研修室	12人	店	店で見る漢字（半額・シール類・価格表示類、食品）	新庄	新矢、オーラヌット、佐藤
6	平成26年8月18日 13:30～15:00	1.5	大阪市立総合生涯学習センターメディア研修室	9人	災害	地震、緊急地震速報、避難場所の漢字と書く練習、災害マニュアルの配布と地震の時の対応についての確認	新庄	御子神、オーラヌット、佐野
7	平成26年8月25日 13:30～15:00	1.5	大阪市立総合生涯学習センター研修室	11人	漢字の知識	音読み・訓読みの違いについて、絵と記号から出来た漢字、作文。	新庄	川島、オーラヌット、佐野
8	平成26年9月1日 13:30～15:00	1.5	大阪市立総合生涯学習センターメディア研修室	15人	学校	保育所、幼稚園、小学校 保護者、いきいき活動室 職員室、校長室、教室 年、組 時間割 （小学校、保育所、幼稚園）	御子神	川島、オーラヌット、佐野
9	平成26年9月8日 13:30～15:00	1.5	大阪市立総合生涯学習センターメディア研修室	14人	病院	病院、医院、診療所、内科、小児科、歯科、診療案内、診療時間、午前、午後、休診、診察券、予約、健康保険証、氏名、生年月日、性別（男・女）	佐野	川島、オーラヌット、佐藤

10	平成26年9月15日 13:30～15:00	1.5	大阪市立総合生涯学習センターメディア研修室	17人	薬	薬袋に書いてあること（内用薬・外用薬・用法）を読む。 市販のかぜ薬の箱に書いてあること（何の薬か、用法）を読む。 （薬・様・回・用法・食前・食後）	御子神	川島、オーラヌット、佐野
11	平成26年9月29日 13:30～15:00	1.5	大阪市立総合生涯学習センター研修室	14人	住所	住所練習	新庄	川島、オーラヌット、御子神
12	平成26年10月6日 13:30～15:00	1.5	大阪市立総合生涯学習センターメディア研修室	18人	入管	在留カード 在留カードに記載されている漢字を読む（番号、氏名、生年月日、在留資格など） 入管で良く見る漢字を読む	佐藤	川島、オーラヌット、永井
13	平成26年10月13日 13:30～15:00	1.5	大阪市立総合生涯学習センターメディア研修室	16人	入管	在留期間更新許可申請書を入力する（1ページ目）	佐藤	川島、オーラヌット、御子神
14	平成26年10月20日 13:30～15:00	1.5	大阪市立総合生涯学習センターメディア研修室	15人	求人	求人情報を読む（仕事、時間、給与、時給など） 大阪外国人雇用サービスセンターの紹介 求人情報サイトの紹介	佐藤	川島、オーラヌット、新庄

15	平成26年10月27日 13:30～15:00	1.5	大阪市立総合生涯学習センター研修室	11人	復習	<p>復習</p> <p>1. このことばはどこで見ますか。 (改札口、半額、休診、震度、申請)</p> <p>2. 求人のポスター、葉袋、再入国許可申請書のことば</p> <p>3. ベーシックストローク</p>	御子神	川島、オーラヌット、新庄
16	平成26年11月10日 13:30～15:00	1.5	大阪市立総合生涯学習センターメディア研修室	15人	銀行	<p>銀行</p> <p>ATM引出</p> <p>(銀行、支店)</p>	御子神	永井、オーラヌット、佐藤
17	平成26年11月17日 13:30～15:00	1.5	大阪市立総合生涯学習センター研修室	5人	文を書く	<p>わたしの家族、好きなこと、京都に行きたいです、季節のなかから一つ選んで作文を書く</p>	新庄	川島、オーラヌット、永井
18	平成26年11月24日 13:30～15:00	1.5	大阪市立総合生涯学習センターメディア研修室	10人	料理	<p>料理器具とそれを使うときの動詞の紹介、文の打ち込み、写真のなかから漢字を探す、レシピを完成させる。</p>	新庄	永井、オーラヌット、佐藤
19	平成26年12月1日 13:30～15:00	1.5	大阪市立総合生涯学習センターメディア研修室	12人	電気製品	<p>トイレ</p> <p>シャワーレット</p> <p>お手洗い、化粧室、便所</p> <p>水を流す、音姫、防犯ブザー、便座クリーナー</p>	御子神	永井、オーラヌット、佐藤
20	平成26年12月8日 13:30～15:00	1.5	大阪市立総合生涯学習センターメディア研修室	14人	修了式	<p>能力評価シートの実施、アンケート記入、漢字教室修了式</p>	新庄	川島、オーラヌット、佐藤

## (7) 日本語教育の実施内容 発展クラス

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成27年7月7日 15:15～16:45	1.5	大阪市立総合生涯学習センターメディア研修室	14人	開講式	<p>開講式</p> <p>1) 主催者、協力者挨拶</p> <p>2) 講師挨拶</p> <p>3) 講座スタッフ自己紹介</p> <p>4) 受講者自己紹介</p> <p>5) 講座についての紹介</p> <p>・レベルチェック</p> <p>・第1回 かんじにかえる のファイルを開き、入力とルビの打ち方を確認する。</p> <p>・パソコンに、五十音表を見ながらひらがなとカタカナを打ち込む。</p> <p>・その間に、受講者へのインタビューを行う。</p>	新庄	川島、オーラヌット、佐藤
2	平成26年7月14日 15:15～16:45	1.5	大阪市立総合生涯学習センターメディア研修室	18人	カレンダー	<p>「日本語の文字について」「学習の記録」配布・説明</p> <p>今年は2015年です。</p> <p>きょうは7月14日の火曜日です。</p> <p>わたしの誕生日は11月3日です。</p> <p>国民の祝日 仏滅、大安</p> <p>(一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、日、月、火、水、木、金、土、曜、平成、昭和、生年月日)</p>	御子神	川島、オーラヌット、佐藤

3	平成26年7月21日 15:15~16:30	1.5	大阪市立総合生涯学習センターメディア研修室	16人	駅	J R大阪駅、中央口、阪急梅田駅、2階中央改札口、阪急電車、京都方面乗り場、～番線、阪神電車乗り場、地下鉄御堂筋線、谷町線、東梅田駅、路線図、女性専用車両 (大阪駅、梅田駅、J R線、1番線、地下鉄、阪急、阪神、京阪)	御子神	川島、オーラヌット、佐藤
4	平成26年7月28日 15:15~16:45	1.5	大阪市立総合生涯学習センター研修室	15人	ベーシックストローク	漢字ベーシックストローク 日本の都道府県 自分の住所を書く	御子神	新矢、オーラヌット、佐藤
5	平成26年8月4日 15:15~16:45	1.5	大阪市立総合生涯学習センターメディア研修室	13人	店	店で見る漢字(半額・シール類・価格表示類、食品、栄養成分、アレルギー成分)・文を読む・書く(PCでうつ)	新庄	新矢、オーラヌット、佐藤
6	平成26年8月18日 15:15~16:45	1.5	大阪市立総合生涯学習センターメディア研修室	10人	災害	地震および各災害、特別警報、警報、注意報、避難所、習った語彙を使って作った文を読む。打ち込む。	新庄	御子神、オーラヌット、佐野
7	平成26年8月25日 15:15~16:45	1.5	大阪市立総合生涯学習センター研修室	12人	漢字の知識	発展漢字の読み方について、意味が推測できる部首シリーズ	新庄	川島、オーラヌット、佐野

8	平成26年9月1日 15:15~16:45	1.5	大阪市立総合生涯学習センターメディア研修室	16人	学校	行事 始業式、短縮授業、運動会、修学旅行、懇談会、期末懇談会、終業式 お便り 2学期末懇談会のご案内 (下記の、記入する、提出する、年、組、番、児童、学級担任)	御子神	川島、オーラヌット、佐野
9	平成26年9月8日 15:15~16:45	1.5	大阪市立総合生涯学習センターメディア研修室	15人	病院	歯科、小児科、耳鼻咽喉科、内科、外科、眼科、皮膚科、診療科目、救急、中央急病診療所、救急車、問診票、症状	佐野	川島、オーラヌット、佐藤
10	平成26年9月15日 15:15~16:45	1.5	大阪市立総合生涯学習センターメディア研修室	18人	薬	問診票 問診票の質問内容を確認し、自分について記入する。 既往症欄の、病名や体の部位を言う言葉の日本語を知る。 (肺・腎臓・肝臓・心臓・脳)	御子神	川島、オーラヌット、佐野
11	平成26年9月29日 15:15~16:45	1.5	大阪市立総合生涯学習センター研修室	15人	復習	これまで勉強した漢字の復習と復習ゲーム、漢字探検	新庄	川島、オーラヌット、御子神
12	平成26年10月6日 15:15~16:45	1.5	大阪市立総合生涯学習センターメディア研修室	19人	入管	在留カード 在留カードに記載されている漢字を読む(国籍、在留資格、配偶者、就労など) 入管で良く見る漢字を読む	佐藤	川島、オーラヌット、永井
13	平成26年10月13日 15:15~16:45	1.5	大阪市立総合生涯学習センターメディア研修室	15人	入管	在留期間更新許可申請書を入力する(1~3ページ)	佐藤	川島、オーラヌット、御子神

14	平成26年10月20日 15:15～16:45	1.5	大阪市立総合生涯学習センターメディア研修室	16人	求人	求人情報を読む (勤務地、出勤、待遇、応募など) 大阪外国人雇用サービスセンターの紹介 求人情報サイトの紹介	佐藤	川島、オーラヌット、新庄
15	平成26年10月27日 15:15～16:30	1.5	大阪市立総合生涯学習センター研修室	12人	履歴書	履歴書を書く 履歴書中のことば 自分の履歴	御子神	川島、オーラヌット、新庄
16	平成26年11月10日 15:15～16:45	1.5	大阪市立総合生涯学習センターメディア研修室	14人	銀行	A T M振込 口座振替申込書を書く(住所等)	御子神	永井、オーラヌット、佐藤
17	平成26年11月17日 15:15～16:45	1.5	大阪市立総合生涯学習センター研修室	5人	文を書く	わたしの一日について作文を書く	新庄	川島、オーラヌット、永井
18	平成26年11月24日 15:15～16:45	1.5	大阪市立総合生涯学習センターメディア研修室	10人	料理	料理器具とそれを使うときの動詞の紹介、文の打ち込み、文章作成練習シート、レシピを完成させる。	新庄	永井、オーラヌット、佐藤
19	平成26年12月1日 15:15～16:45	1.5	大阪市立総合生涯学習センターメディア研修室	13人	電気製品	炊飯器 ガスコンロ オーブンレンジ (危険、警告、注意 止、開、炊飯、予約、コース等)	御子神	永井、オーラヌット、佐藤
20	平成26年12月8日 15:15～16:45	1.5	大阪市立総合生涯学習センターメディア研修室	16人	修了式	能力評価シートの実施、アンケート記入、漢字教室修了式	新庄	川島、オーラヌット、佐藤

## 取組事例①

【第6回 2015年8月18日】

テーマ：災害（入門クラス・発展クラス）

カリキュ

ラム案「1 健康・安全に暮らす 02安全を守る 05災害に備え、対応する」に関連し、大阪市内で撮影された写真を元に、災害をテーマにした学習を行った。入門クラスでは地震と主な災害の語彙を学習したあと、各国語の災害マニュアルを配布し、地震が起きた時や避難が必要になった時の対応について話し合った。発展クラスでは、地震や災害の語彙を学習したあと、それらの語彙を使って文章を作成した。そして、語彙の理解と定着のために、講師が示したモデル文をお手本にPCを使って文章を作成した。文章を作成すると、発音が不明瞭だったことによる誤用や文法の間違いなどが明確になった。



## 取組事例②

【第9回 2017年9月15日】

テーマ：薬（入門クラス）・問診票（発展クラス）

「健康・安全に暮らす」というカリキュラム案に沿って、前回の「病院」に続き、「薬」を扱った。病院で処方される薬、市販の薬などの袋や箱に書かれている漢字を取り上げて学習すると同時に薬についての情報をシェアした。発展クラスでは問診票の内容をパソコンで確認後、実際に記入した。受診時に困った経験がある受講者が多かった。「肺炎」「肝臓の病気」「腎臓の病気」「脳卒中」「心臓の病気」など既往症についての言葉を学習したとき、体の部位名についてもっと知りたいというリクエストがあり、復習の回に取り上げた。



## (9) 目標の達成状況・成果

本講座は、日常生活において必要な漢字を認識することができること、および、より多くの漢字を獲得するための自律的学習能力の養成、という2つのことを学習目標としている。目標の達成状況を検証するため、アンケートと診断テストを用いた。

アンケートは講座の最終日に当日出席の受講者16名に記入を求めた。アンケートの結果、漢字学習へのアプローチ、学習のテーマ、クラスの進め方に対する満足度は高かった。入門クラスと発展クラスに分けたため、リピーター-の受講者は少しレベルの高い漢字にチャレンジできたことも満足度の高さにつながった。一方、「もっと書きたい」という希望も多かった。漢字語彙の認識・理解にとどまらずに、漢字を使って文を書くという学習も数回行っており、受講者はテーマについての作文に楽しく取り組んでいた。

診断テストは開講時に一度実施しており、同じ内容で終了時にも実施することによって、この漢字教室に参加した結果、漢字の習得が進んだかどうかを評価した。最終日出席の16名の結果を比較すると、個人差はあるものの、全体的には認識できる漢字や書ける漢字が増えている。また、伸びが低い場合、ひらがな・カタカナの習得も不十分なままであるという傾向が見られる。

総合的には、認識できる漢字が増えており、また、自律的な学習への意識付けもできたと考える。

(10) 今後の改善点について

- ・「もっと書きたい」という受講生が多かった。練習の時間として、「書く」時間を増やし、漢字だけでなく、文章を書くのもよいかもしれない。
- ・ベーシックストロークは折に触れてやらないと身につかない。
- ・かな、特にカタカナの習得が課題である。
- ・発音をもう少し練習したほうが漢字の認識に役立つと感じた。
- ・各クラス1.5時間で行ったが、両方のクラスに出席する人が多かったため、後半に疲れが見られた。

## 6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

(1) 講座名称

「生活の漢字」学習支援者養成講座

(2) 目的・目標

・外国人の日本語学習を支援する地域の日本語教室等において、外国人のための「生活の漢字」学習支援者を養成する。

(3) 対象者

・地域の日本語教室や外国人支援を行う活動などで、漢字学習支援を必要とする人。

(4) 使用した教材・リソース

・『生活の漢字』（H20年度文化庁地域日本語教育支援事業「日本語教材作成」で作成したテキスト）、『新にほんご〈生活の漢字〉漢字み〜つけた』（アルク）、「別表学年別漢字配当表」、『みんなの日本語発展Ⅰ漢字』（スリーエーネットワーク）、『漢字ステップ』（JICWELS）、NEWS、その他自主教材

(5) 受講者の総数 85人

【出身・国籍別内訳】

中国	2人	インドネシア	人	※他の国籍の場合は以下に国籍と人数を記載してください
韓国	人	タイ	人	
ブラジル	人	ペルー	人	
ベトナム	人	フィリピン	人	
ネパール	人	日本	83人	

(6) 開催時間数(回数) 32時間 (全 12回)

(7) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	受講者数	研修テーマ	授業概要	講師名	補助者名
1	10月7日 (水) 13:30-16:00	2.5	サンプラザ センター視 聴覚室	25	漢字学習のシラバスを 考える	1. 外国人への日本語教育・学習支援 2. 文字学習支援の基本 3. 定住外国人に向けた文字学習支援	新矢	新庄、川島
2	11月14日(土) 14:00~16:30	2.5	大阪市立総合生涯学習 センター	10	生活の漢字学習支援の 方法	1 パソコンを使って得られる情報 2、漢字学習支援の方法とコツ 3、教材作成	新庄	川島、御子神
3	11月24日(火) 13:30~16:45	3	大阪市立総合生涯学習 センター	5	漢字教室見学	料理の漢字	新矢	川島
4	9月10日(木) 13:00~15:30	2.5	大阪市男女共同参画セ ンター東部 館 クレオ 大阪東	13	漢字学習のシラバスを 考える	1. 外国人と文字学習 2. 続けられる漢字学習のために	御子神	川島、新庄

5	9月17日(木) 13:00~15:30	2.5	大阪市男女 共同参画セ ンター東部 館 クレオ 大阪東	10	生活の漢字学習支援の 方法	1. 簡単にできる 活動例の紹介と演 習 2. 教材作成のコ ツと方法、および 教材作成と演習	新庄	川島、永井
6	10月6日(火) 13:30-16:45	3	大阪市立総 合生涯学習 センター	10	漢字教室見学	入管・在留カード	新庄	新矢、御子神
7	11月24日(火) 13:30~16:00	2.5	難波市民学 習セン ター・第2 研修室	23	漢字学習のシラバスを 考える	1. 外国人と文字 学習 2. 続けられる漢 字学習のために	御子神	なし
8	12月1日(火) 13:30~16:45	3	総合生涯学 習センター	18	漢字教室見学	トイレの漢字、台 所(炊飯器・オー ブンレンジ・ガス コンロ)の漢字	新庄	川島、新矢
9	12月15日(火) 13:30~16:00	2.5	難波市民学 習セン ター・セミ ナー展示室	23	パソコン実習	1. 「生活の漢 字」とは 2. 教材作成のポ イントと練習 3. 教材作成・発 表(グループ活 動)	御子神	川島、新庄
10	10月24日(土) 13:30~16:00	2.5	大東市総合 社会福祉セ ンター	22	漢字学習のシラバスを 考える	1. 外国人への日本 語教育・学習支援 2. 文字学習支援の 基本 3. 定住外国人に向 けた文字学習支援	新矢	新庄、川島
11	11月10日 (火) 13:30~16:45	3	総合生涯学 習センター	15	漢字教室見学	銀行、ATM、口 座振替申込書	新庄	川島

12	12月12日（土） 13:30～16:00	2.5	大東市総合 社会福祉セ ンター	24	生活の漢字学習支援の 方法	1) 楽しく漢字を 学習する・学習支 援をするためのポ イントを理解す る。 2) 写真を使って できる漢字学習支 援のコツを学ぶ。 3) 実際に教材を 作成することで、 漢字学習支援をす るときのポイント について学ぶ。	新庄	川島、 御子神
----	--------------------------	-----	-----------------------	----	------------------	---	----	------------

(8) 特徴的な活動風景（2～3回分）

取組事例①

【第4回 2015年9月10日】  
 各出前前で3回シリーズで行った講座の第1回目「漢字学習のシラバスを考える」。「Ⅰ. 外国人と文字学習」では、身近な外国人について漢字学習上の困難をグループで考え、発表。「Ⅱ. 続けられる漢字学習のために」では、日本人の子どものためのシラバス（学年別漢字配当）では生活に必要な漢字がなかなか学習されず、挫折につながっていることから、どのようなシラバスがよいか考えた。また、負担が大きすぎない方法、覚えたり書いたりするための助けを含め、楽しく楽に漢字を学習するための方法を紹介した。



取組事例②

【第12回 2015年12月12日】  
 出前先の団体から普段PCを使用しないため、PCを用いない講座の希望があった。そのため、1) 楽しく漢字学習するためのポイントの理解、2) スマホを利用した漢字学習支援のコツ、3) 実際の教材作成という内容で講座を行った。積極的な受講生が多かったが、なかでも中国出身の受講生からは、中国と日本の漢字の違いや中国語母語話者としての日本語の漢字学習の難しい点といった意見も出て、活発な意見交換ができた。



(9) 目標の達成状況・成果

本講座の目的・目標は「日本に住んでいる外国人のための漢字学習支援者を養成する」である。講座では3回の連続の各講座終了時に「ふりかえりシート」を記入してもらい、講座での学びについて振り返ってもらった。

シートの記述内容から、当初の学習目標の達成状況を次の通りに報告する。

- ・生活の漢字のコンセプト・シラバスについて理解してもらえた。
- ・外国人学習者のニーズに気づいてもらえた。
- ・PCや写真を使う理由と使い方を覚えてもらえた。
- ・「ベーシック・ストローク」「漢字を切る」「ストーリーを作る」等漢字学習の方法を知ってもらえた。
- ・グループ活動によって参加者同士が情報交換や意見交換ができた。
- ・漢字教材を作って、作成の実際の手順を把握してもらえた。

以上を鑑み、本講座の目標はある程度達成できたと思われる。

(10) 今後の改善点について

・一か所につき3回の講座となったため、漢字の教え方的な面が主になり、多文化共生社会を見据えた地域日本語活動におけるボランティアの姿勢についてのシェアが足りなかった。今後養成講座を開催する場合は、多文化共生や社会教育といったテーマの講座も組み入れ、定住外国人の社会参加に繋がるための文字学習支援を考えたい。

・出前スタイルにしたため、出前先とのやりとりが大変だった。コーディネーターがないため、メンバーが手分けして連絡を行ったが、コーディネーターをおけば、実動メンバーの負担が軽減されるのではないか。

## 7. 日本語教育のための学習教材の作成

### (1) 教材名称

日本に定住し、地域に根ざす外国人のための「生活の漢字」教材の作成

### (2) 対象

・漢字を学びたいと思う定住外国人

### (3) 目的・目標

・日常生活に必要とされるトピックを選定し、漢字語彙を自律的に学習できる能力を身につける教材を作成する。  
・漢字学習の入門として使用できる教材のほか、「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的カリキュラム案教材例集と共に使用できる漢字教材を作成する。なお、教材の作成にあたり、企画・編集会議を行い、内容の検討及び改善を行う。  
・この漢字教材を用いることで、他地域においても「生活の漢字」学習の普及をめざす。

### (4) 構成 (総ページ数: 106ページ)

・10のテーマを取り上げる。  
・各テーマ10ページ程度。  
・各ユニットは漢字のある場面や物の写真と、漢字の読み方、情報、書き練習等で構成する。  
・標準カリキュラムとの対照表を付す。

### (5) 教材の具体的な活用方法

・支援者といっしょに使う。①テーマについて経験等を話す。②写真の中の漢字語彙を認識する。③漢字語彙の読み方を知る。読み方がわかると意味がわかる語も多いと思われるが、意味がわからない場合は意味を学ぶ。④形を認識するために書く。⑤教室から出たら、実際の生活の中で学んだ漢字を使う。

### (6) 具体的な活用例

・地域の日本語教室でグループ(ボランティア2名、学習者3名程度)で使用する。一つのトピックについてそれぞれの経験を話し合ったり、情報交換をしながら関連する漢字の認識、また漢字の認識のために漢字を書く練習を行う。活動の想定時間は1時間～2時間程度。  
・標準カリキュラムの関連場面で、漢字学習も行う。たとえば病院の場面で問診票の漢字を学習する。

### (7) 成果物のリンク先



## 8. 事業に対する評価について

### (1) 事業の目的・目標

・日本に定住する予定の外国人、または既に地域に根ざしている外国人を対象に、生活の中で身につけた日本語の音声言語に文字言語を加えることによって、意味は知っていながらも文字としては認識できなかった語彙、特に漢字語彙が読めるようになることを目指す。日常生活において必要な漢字を認識し、自律学習の習慣を身につけてもらうことを目的とする。

### (2) 目的・目標の達成状況・事業の成果

・これまで述べてきたとおり、漢字教室及び養成講座の受講生に実施したアンケート結果及び作成した教材から本事業における目標である「日常生活において必要な漢字を認識すること、また自律して学習することができるようになること」また「漢字学習支援者の養成」は達成できたと思われる。

### (3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

・作成した教材に、標準的なカリキュラム案と関連する項目がある場合はそれを示した。また養成講座にて受講生に紹介し、活用方法を考えた。標準的なカリキュラム案について気づいた点は、標準的なカリキュラムは生活場面について様々なケースが挙げられているので参考になるが、会話の習得が主であり、読み書きについては触れられていない。今後は文字習得の側面においても標準的なカリキュラムを作成する必要があると思われる。

### (4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

・大阪市立総合生涯学習センターと運営面で連携、協力を得た。  
・本講座を修了後に居住地の日本語教室で継続的に学習ができるように、大阪府下の日本語教室一覧を受講者に配布した。授業でもインターネットを用い、居住地の近くにある日本語教室の検索の仕方を受講者に紹介した。

### (5) 事業実施に当たっての周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

・大阪市内の識字・日本語教室と近隣の市の国際交流センターにチラシを郵送した。また、各自の関係先でも配布した。  
・多文化共生センター大阪・大阪市立総合生涯学習センターのホームページで広報した。  
・発展クラスの受講者募集のため、以前の受講者にチラシを送付した。  
・本事業での実践を活動に取り入れるということで、見学者を受け入れた。(日の出読み書き教室コーディネータ)  
・養成講座に申し込んで抽選に漏れた所や、養成講座の参加者からの口コミなどから、漢字学習支援者のための講座実施の依頼があり、本事業外で地域に出向いて、漢字学習支援者養成講座を行った。(国際交流の会とよなかT I F A、京都R i n g s、N P O法人市岡国際教育協会日本語教室)

### (6) 改善点、今後の課題について

漢字教室においては、入門と**発展クラス**に分けたため、リピーターに対応できたが、両クラスに参加した受講者が多かった。本来の入門レベルの受講者の申し込みが少なかったこともある。周知の方法を工夫し、必要な人に情報が届くようにしたい。養成講座においては、出前講座を行い、多数の申し込みがあった。行った教室の中には「教える」ことに傾きがちな所も見られたので、学習支援者の姿勢についても考える必要がある。漢字学習教材は、標準カリキュラムとリンクするものとした。事業全体については、常時教室が設置できないことが課題である。受講生においては、昨年度漢字教室に参加していても、数ヶ月間が空くと内容を忘れてしまう人も少なくない。自分で学習を続けているものの難しい部分があるという意見もある。このように、今後は単発的な事業ではなく、複数年実施できるような形態が必要ではないかと思う。そして将来的には、諸外国のように、定住外国人が無料か格安で生活のための日本語を学べる公的な教室を望む。特に本事業の漢字教室に参加する学習者は日本人の配偶者が多く、今後も日本に住み続ける予定の人々である。このように日本社会の一員として生活する外国人のために生活に必要な日本語を学ぶ教室が求められていると感じた。

### (7) その他参考資料

漢字教室アンケートまとめ・養成講座アンケートまとめ・診断テスト・学習者用学習記録用紙 添付